



今月は「イラン」を覚えてお祈りください

イランは、西アジア・中東のイスラム共和制国家。北にアゼルバイジャン、アルメニア、トルクメニスタン、東にパキスタン、アフガニスタン、西にトルコ、イラクと境を接する。また、ペルシア湾をはさんでクウェート、サウジアラビア、バーレーン、カタール、アラブ首長国連邦に面する。首都はテヘラン。

イランの経済・政治・宗教について

イラン経済は輸出 80%を占めている原油と天然ガスによって支えられている。インフラなどの整備がまだ不十分であるがために運送のコストが非常に大きく、原油輸出による収益の多くは一部の人々のみ還元されていることが多い。政治には腐敗が蔓延しており、宗教的な制限のゆえに海外からの投資も限られている。近年では輸出益を広く還元し、新しい雇用の創出にあてるといった政治的取り組みが積極的になされている。都市部の発展と人口増加は非常に早い。目覚ましい近代的な成長とともに失業者の数が増え続けており深刻な社会問題となっている。

イランの政体は1979年以降の憲法(ガーンルーネ・アサーシー)の規定による立憲イスラム共和制である。政治制度的に複数の評議会的組織があって複雑な関係をなしている。これらの評議会は、民主主義的に選挙によって選出される議員で構成されるもの、宗教的立場によって選出されるもの、あるいは両者から構成されるものもある。

大部分のイラン人はイスラム教徒であり、その 90%がシーア派十二イマーム派(国教)、9%がスンニ派(多くがトルクメン人、クルド人とアラブ人)である。ほかに非イスラム教の宗教的マイノリティがあり、主なものにバハイ教、ゾロアスター教(サーサーン朝時代の国教)、ユダヤ教、キリスト教諸派などがある。

イランのその他の情報

面積:1,648,196 km² (日本の約 4.3 倍) 人口:75,077,547 (日本の約 60% 2010 年時点)



首都「テヘラン」



イランの子どもたち



町の通りの様子

宗教:	
イスラム教	98.64%
キリスト教	0.51%
バハイ教	0.40%
無宗教	0.28%
その他	0.15%
ユダヤ教	0.02%

「見よ。ある者は遠くから来る。また、ある者は北から西から、また、ある者はシニムの地から来る。」イザヤ書 49章 12節

祈禱課題

特に福音を必要としている諸部族を覚えて

イランには数多くの未伝部族がある。

イラン南西部、ザグロス山中の複数雄遊牧民— これらの民族の中には数えるくらいのクリスチャンしか確認されていない。定期的に移動していく彼らの生活スタイルのゆえに教会開拓が難しい。幸いにもキリスト教のラジオ番組やイエス映画は彼らのいくつかの言語に訳されている。

複数のクルド民族—イラン北西部や北東部で暮らしている。イラン社会に対立的な立場に立っていることが少なくないので、経済的に厳しい生活やイラン社会や文化になじめないままである。多くはイスラムスンニ派に属している。

アゼル人やトルクメン人—イランの北部で暮らしている。ほとんどクリスチャンやキリスト教に接触したことがなかったが、近年彼らのことばに訳された新約聖書や詩篇や箴言がある。アゼル人はイランの中でも最も数の多いマイノリティーグループだ。この大きなマイノリティーグループが聖書の主人公であるイエスに出会えるように祈りが必要だ。

バロクとブラフイ人—イランの南東部に暮らす彼らの多くはイランの統治に不満足だという。敵意や無法がこの民族の間に多くある。クリスチャンの数は非常に少ないものの、ラジオや衛星放送によって福音が伝えられている。

ドマリ人、ゴルバディ人、マワリ人— 遊牧民族でイラン国内に合計 130 万人はいるとされている。彼らの社会的な立場は低く遊牧的な生活を送っていることからあまりイランのなかでも知られていない部族だ。これらの部族に直接的に働きかけているキリスト教団体や働き人はまだいないようだ。